

令和5年1月27日 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報告）

ア 第15回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

※教育総務課長から資料に基づき説明

（鈴木委員）表彰は、応募によるものか。他薦によるものか。

（教育総務課長）教育委員会から文部科学省へ応募し、審査を経て表彰されたものである。

（鈴木委員）受賞した学校以外にも本市から応募している学校はあるのか。

（教育総務課長）応募したのは受賞した1校のみである。

イ 学校ホームページのリニューアル（CMS化）について

※教育施設課ICT教育推進担当課長から資料に基づき説明

（黒柳委員）ホームページが見やすくなった。これまでも各学校の特色が表れたホームページで良かったが、形式が統一化されたことで知りたい情報にたどり着きやすい。

しかし、PTA役員の中には、突然ホームページが変わるという連絡があり戸惑ったという意見もあった。熱心にホームページの更新に協力しているPTA役員もいるため、事前に意見を聴く機会があっても良かったのではないか。

今後、コミュニティ・スクールを推進していくうえで、学校と地域、家庭は連携していく必要があるので、丁寧な説明やそれぞれの考えに配慮することも大切である。

ウ 令和4年度幼稚園教諭・保育士採用試験結果について（令和5年度採用）

※幼児教育・保育課長から資料に基づき説明

（安田委員）受験者数が減少した原因は何か。

（幼児教育・保育課長）市役所職員全体の受験者も減少している。最近は、幼稚園・保育園を取り巻く環境がネガティブに捉えられている傾向もあり、受験者の保護者から就職先として敬遠されている部分もあると養成校から聞いている。養成校に入学する生徒は減少していないため、資格を得ても就職先として幼稚園・保育園を選ばないといった状況にある。有資格者に対して積極的な働きかけが必要と考えている。

(安田委員) 仕事の魅力発信の機会を持ち、多くの方に仕事の良さが伝わると良いと思う。

(神谷委員) 学生は職場にどのようなことを求めているのか。

(幼児教育・保育課長) 実際の保育の現場は、長年培ってきた経験を重んじる傾向があり、最新の教材で学んできた学生からはアナログに見えているようである。

また、民間の幼稚園やこども園と比べると市立幼稚園は少し堅い印象を受けることもあり、職場の明るい雰囲気づくりなども重要なポイントなのではないかと考えている。

エ 学校開放事業スマート化について

※スポーツ振興課長から資料に基づき説明

(神谷委員) 説明を聞いて、鍵の受け渡しや支払い等の利便性が向上すると感じた。一方で予約システムについて、メールで暗証番号が届く1時間前までキャンセルできてしまうことや、これまでと同じように予約が可能であるかなど、使用にあたり不安に感じている人も多いようである。想定されるトラブルや課題があれば教えてほしい。

(スポーツ振興課長) 学校開放事業の本来の目的は「地域の方が活動できる場所」と捉えている。ネット予約は他地域からも予約が可能になってしまうのではないかと心配している方もいる。

今後も「利用調整会議」を継続し、会議に参加するメンバーの利用優先度を高くして設定していきたい。

(神谷委員) 学校施設は説明のあったシステム、協働センターの施設は「まつぼっくり」での予約と2本立てで運用していくことになるのか。

(スポーツ振興課) 「まつぼっくり」は今後改修予定であり、予約の際には学校施設の予約状況なども同時に閲覧できるようなシステムを考えている。

(安田委員) スポーツ施設利用は、学校負担軽減のために長い間要望があった内容であることから、実現されたことは評価したい。利用団体へのアンケート結果も概ね良好のようだが、「やや不満」と回答した団体がいるため、不満の理由を確認したい。

(スポーツ振興課) 利用団体が会計報告するうえで領収書が必要になるが、キャッシュレス決済により個人支払いとなってしまう点が不便だという回答であった。

今後はコンビニ払いも検討し、団体としての領収書が発行できるよう改善していきたい。

(黒柳委員) 取り付けスマートキーを利用する際の暗証番号は毎回変更されるとのことだが、変更はシステムがランダムに行うものか。

(スポーツ振興課) 自動で変更されたうえでメール送信されるものである。